
? - imitation feelings -

しゃと。

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

? - i m i t a t i o n f e e l i n g s -

【コード】

N3630M

【作者名】

しゃぶ。

【あらすじ】

王様とある兄妹の長年にわたる恋の物語

?

* 最初に *

- 登場人物 -

* 暁 李音（あかつき りおと）

* 暁 咲乃（あかつき さくの）

* 南城 皇（なんじょう こう）

- prologue -

寂しげな表情をして告げられた言葉は・・・告白だった。

大好きだった・・・という告白だった。

今まで俺を想ってくれていたという・・・告白だった。

だった・・・その言葉は俺の胸は締め付けられた。

「何で・・・だったなの？」

思わず・・・聞いてしまった。

李音の心情なんて一切考えずに・・・聞いてしまった。

俺の言葉に李音は苦笑を浮かべながら・・・そして寂しげな表情のまま・・・

「僕はやっぱり・・・咲乃に傷ついてほしくはないんだ・・・」

と・・・か細い声で答えた。

やっぱり俺は咲乃ちゃんには敵わないんだ・・・

絶望とか・・・そんなのは通り越して・・・

「・・・ごめん。」

李音は本当に申し訳なさそうに謝ってくれる。

余計・・・みじめになる。

李音が悪いわけじゃない、勝手に想っていた俺が悪い・・・
何もかも俺が悪い・・・

「李音は悪くない・・・謝らないで。」

喋るだけで瞳から涙が零れそうになる。

でも・・・泣いてはいけない。

李音が心配する・・・

李音が安心して咲乃ちゃんのところにいけなくなる。

李音を困らせたくない。

「もう・・・俺と関わらないで・・・」

李音との関わりを断つために俺が最後にいった言葉。

「・・・わかった。じゃあ・・・さよなら、皇。」

それが李音が俺に言った最後の言葉・・・

さよなら、李音。

また、いつか・・・なんて想ったら自分勝手すぎるよな・・・

prologue end

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3630m/>

? - imitation feelings -

2010年10月10日05時42分発行